

# 平成29年度第15回ヨコハマe アンケート 内水ハザードマップに関するアンケート

実施期間 平成29年12月8日（金）から12月22日（金）

事業所管課 環境創造局 下水道事業マネジメント課

年代別・性別のメンバー数／構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	22 (0.6%)	73 (2.1%)	247 (7.1%)	464 (13.3%)	329 (9.4%)	357 (10.2%)	204 (5.9%)	2 (0.1%)	1,698 (48.7%)
女性	15 (0.4%)	159 (4.6%)	622 (17.8%)	548 (15.7%)	294 (8.4%)	111 (3.2%)	30 (0.9%)	0 (0.0%)	1,779 (51.0%)
不明	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.1%)	2 (0.1%)	3 (0.1%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (0.2%)
計	37 (1.1%)	232 (6.7%)	871 (25.0%)	1,014 (29.1%)	626 (18.0%)	469 (13.5%)	234 (6.7%)	2 (0.1%)	3,485 (100.0%)

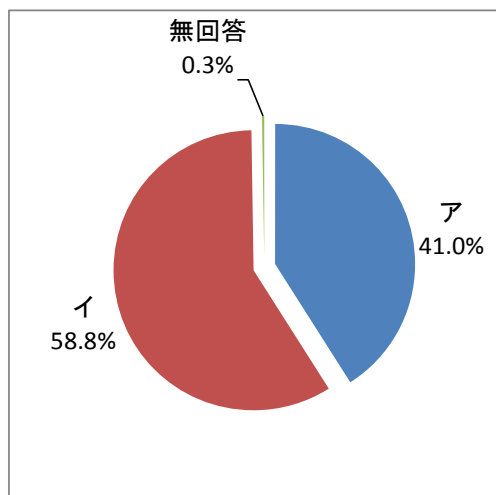
年代別・性別の回答者数／回答率

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	3 (13.6%)	16 (21.9%)	63 (25.5%)	167 (36.0%)	151 (45.9%)	197 (55.2%)	132 (64.7%)	1 (50.0%)	730 (43.0%)
女性	3 (20.0%)	18 (11.3%)	112 (18.0%)	154 (28.1%)	113 (38.4%)	45 (40.5%)	11 (36.7%)	0 (0.0%)	456 (25.6%)
不明	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)
計	6 (16.2%)	34 (14.7%)	175 (20.1%)	321 (31.7%)	265 (42.3%)	243 (51.8%)	143 (61.1%)	1 (50.0%)	1,188 (34.1%)

Q1 本市では、各区ごとの内水ハザードマップを公表、配布していますが、この取組について知っていますか。  
(単一選択)

n= 1,188

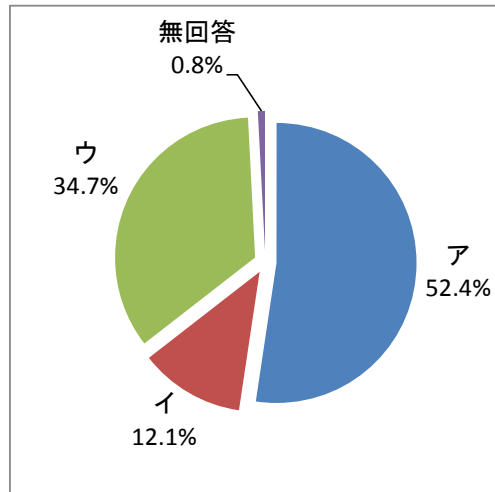
ア 知っている	41.0%	487
イ 知らなかった	58.8%	698
無回答	0.3%	3
	100.0%	1,188



**Q2** Q1で「ア 知っている」と回答された方にお聞きします。内水ハザードマップの配布は市民の皆様の日ごろからの備えに役立っていると思いますか。(単一選択)

n= 487

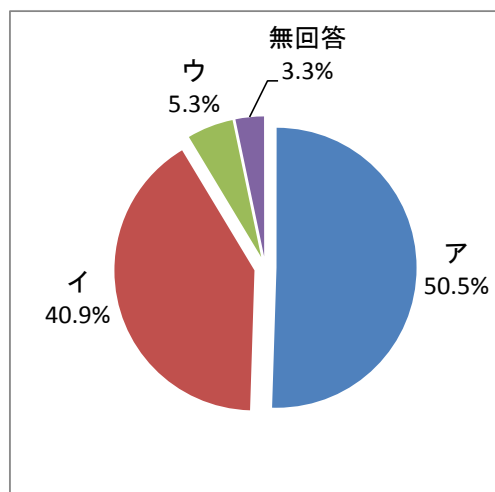
ア	役立っている	52.4%	255
イ	役立っていない	12.1%	59
ウ	わからない	34.7%	169
無回答		0.8%	4
		100.0%	487



**Q3** Q1で「ア 知っている」と回答された方にお聞きします。内水ハザードマップをお持ちですか。(単一選択)

n= 487

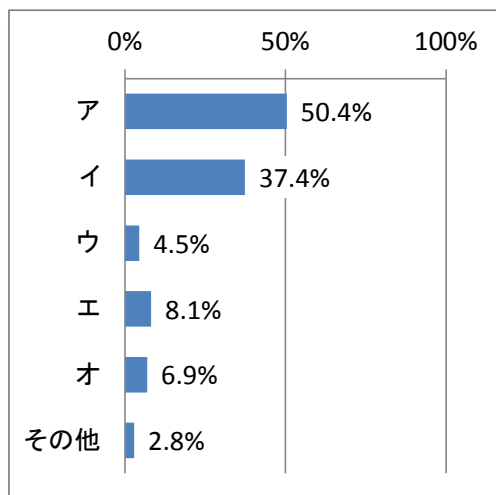
ア	持っている	50.5%	246
イ	持っていないが、見たことはある	40.9%	199
ウ	持っていないし、見たこともない	5.3%	26
無回答		3.3%	16
		100.0%	487



**Q4** Q3で「ア 持っている」と回答された方にお聞きます。内水ハザードマップをどこで入手しましたか。(複数選択可)

n= 246

ア	自宅に配布された	50.4%	124
イ	区役所	37.4%	92
ウ	市民情報センター	4.5%	11
エ	ホームページから印刷した	8.1%	20
オ	覚えていない	6.9%	17
その他		2.8%	7



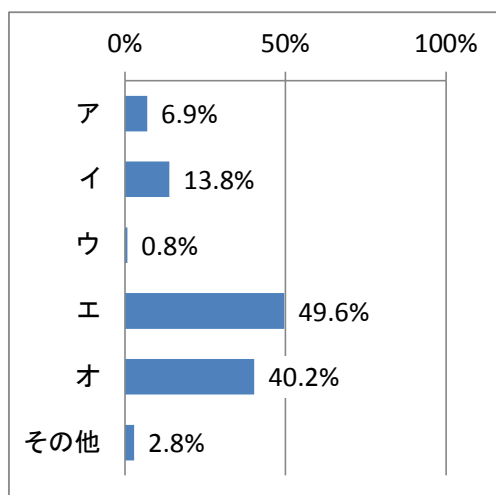
その他(抜粋)

区民祭や町内の防犯イベント
地区センター
鶴見川流域センター

**Q5** Q3で「ア 持っている」と回答された方にお聞きます。内水ハザードマップ入手後、大雨の際に、実践していることや備えていることはありますか。(複数選択可)

n= 246

ア	大雨時には大量の水を下水に排水しない	6.9%	17
イ	側溝や雨水ますの清掃を行った	13.8%	34
ウ	土のうや水のうの準備をした	0.8%	2
エ	大雨時に危険となる場所の確認をした	49.6%	122
オ	実践・備えたことはない	40.2%	99
その他		2.8%	7



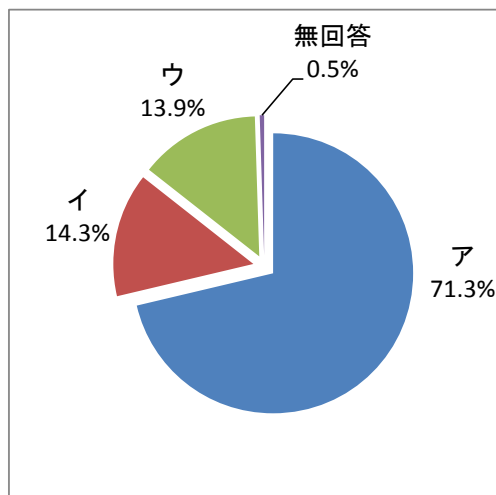
その他(抜粋)

MAPIにて危険区域に指定されていないことを確認したので、特段備えていることはない。
マップ入手前から、がけ崩れの危険性を認識し、自分でできることはしている。あまりないが。
通学路や勤務先も確認した。

**Q6** 現在、内水ハザードマップは各区役所、市民情報センターに配架していますが、横浜市のホームページでもデータを手入手できるようにしています。印刷版を配架する必要がありますか。(単一選択)

n= 1,188

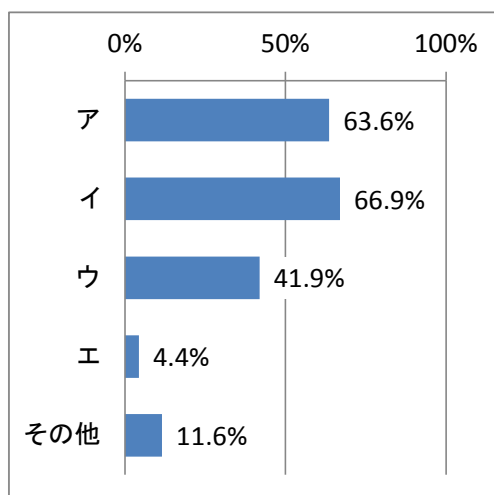
ア	必要だと思う	71.3%	847
イ	必要ではない	14.3%	170
ウ	わからない	13.9%	165
無回答		0.5%	6
		100.0%	1,188



**Q7** Q6で「ア 必要だと思う」と回答された方にお聞きます。各区役所、市民情報センター以外に配架を希望する場所がありますか。(複数選択可)

n= 847

ア	鉄道駅	63.6%	539
イ	行政サービスコーナーなどの公共施設	66.9%	567
ウ	ショッピングセンター	41.9%	355
エ	特に希望はない	4.4%	37
その他		11.6%	98



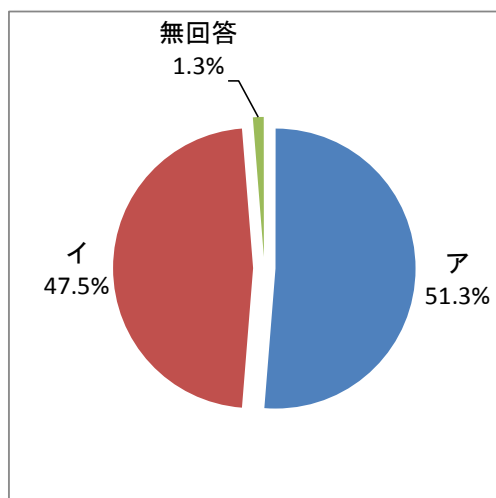
その他(抜粋)

コンビニ、市営バス車内、郵便局など
回覧板または市のたよりと一緒に各戸に一部欲しい。
地域ケアプラザなどの高齢者・障がい者・年少者(乳幼児)の集まる施設

**Q8** 横浜市では、市内の小中学校や地域の皆様を対象に、環境教育出前講座の「下水道教室 おかえりなさい 元気な水」を行い、内水ハザードマップの普及啓発活動を行っています。この出前講座を受講してみたいと思いますか。(単一選択)

n= 1,188

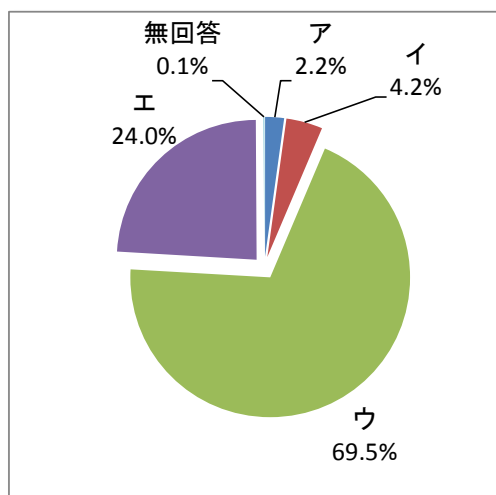
ア	受講したいと思う	51.3%	609
イ	受講したいとは思わない	47.5%	564
無回答		1.3%	15
		100.0%	1,188



**Q9** 内水ハザードマップの詳細について、YouTubeに説明動画を掲載していますが、この動画を見たことがありますか。(単一選択)

n= 1,188

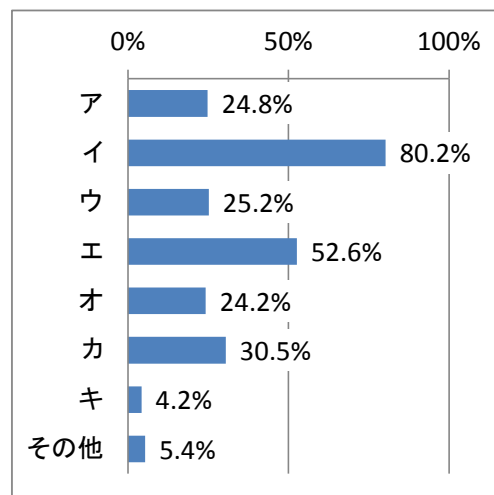
ア	見たことがある	2.2%	26
イ	知っていたが、見たことはない	4.2%	50
ウ	知らなかったが、見たいと思う	69.5%	826
エ	知らないし、見たいとも思わない	24.0%	285
無回答		0.1%	1
		100.0%	1,188



**Q10 内水ハザードマップの普及啓発活動について、今後どのような手段で情報を提供すべきだと思いますか。(複数選択可)**

n= 1,188

ア	テレビ	24.8%	295
イ	広報よこはまなどの市の広報印刷物	80.2%	953
ウ	新聞	25.2%	299
エ	国や県、横浜市のホームページ	52.6%	625
オ	twitter、facebookなどのSNS、ブログなど	24.2%	288
カ	イベント・セミナーなど	30.5%	362
キ	現在の活動で十分である	4.2%	50
その他		5.4%	64



**その他(抜粋)**

リスクの高い地域住民や自治会に重点をおいて、優先的な活動をしたほうが良い。  
 市民だけでなく、ヨコハマに来ている人も対象にしたほうが良いと思う。仕事、観光、セミナー等毎日大勢の市外の人に来ていていざという時不安だろうから。  
 民間の地域情報誌やフリーペーパーなど

**Q11 内水ハザードマップについて、ご意見があればお聞かせください。(自由意見)**

**(抜粋)**

「知らなかった」という市民を一人でも無くしてほしいです。いざという時に備え、知っていれば防げることへの啓発や努力は行政側も個々の市民も必要なことだと思います。

「内水ハザード」という言葉に馴染みがありません。ただ、今回調べてみると生活に関連する重要な情報だと思いました。用語の説明もセットで周知すると、意識が変わると思います。

パソコンで閲覧できるのは良いが、かなり拡大しても自宅付近が良く見えない。凡例、説明も読みにくい。もっと工夫して緊急時にスマホで見られるようにしてほしい。

ホームページに掲載されているハザードマップを拝見したことがあるが、データ容量が重すぎてスマートフォンではスムーズに閲覧できない。実際に大雨等でアクセスが集中する時は、必要な情報が手に入らない事が予想されるので、スマートフォンでも閲覧しやすいように改善する必要があると思います。

まだなかなか本格的に考えたことはなく、詳細には見ていませんが、改めて備えようとは思いません。

近頃温暖化のせいか降雨が以前とは段違いに激しくなっていると思います。日頃から心構えが必要だと思うので、それを根付かせるためにも小さい時から意識させることが大切だと思いました。小中学校で授業か何かの中で扱うようにしたらいいのではないかと感じます。

言葉が難しいので、小学生からお年寄りまでわかるよう注釈付きの言葉で情報提供すべきではないでしょうか。

普段雨量が激しいときなどの経験から、なんとなくこのエリアなどが危険だということしかわからなかったが、ハザードマップがあれば対策としては取りやすいので助かる。



# ヨコハマeアンケート

## 平成 29 年度 第 15 回アンケートの「その後」

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどう活用しているのかなど、アンケートの「その後」をご紹介します。



### 内水ハザードマップに関するアンケート

(平成 29 年 12 月実施) 担当 環境創造局 下水道事業マネジメント課

#### アンケートの回答を事業に反映した事例、又は反映する予定

横浜市ホームページ内の内水ハザードマップ公表ページの改善を行います。また、より多くの方に「内水ハザードマップ」を知ってもらえるような、効果的な PR についての検討を進める上で参考とさせていただきます。

#### アンケートを実施しての感想

現在、内水ハザードマップを全区で公表してから約3年が経過していますが、アンケート結果では全体のおよそ60%の方がご存知でないことがわかりました。また、「内水」という言葉の意味がわからない、ホームページでの閲覧が不便といった、現在の公表状況についての課題を多くいただくことができ、今後のPRに向けて、大変参考になりました。

#### 担当部署から登録メンバー様へのメッセージ

この度はアンケートにご協力いただきありがとうございました。

近年、下水道の能力を超える、ゲリラ豪雨などの局地的大雨による浸水被害が発生しているため、日頃から浸水に備えておくことが重要です。今回皆様からいただいたご意見を参考に、より一層の普及啓発に向けて検討を進めていきます。

ヨコハマeアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。